

中間審査の実施要項

対象大学院生： 2年次博士課程大学院生

ただし、やむを得ない事情で、2年次に中間審査の申請が出来ない場合は、最大6か月間延長することを認める。その場合は、中間審査延長願いを提出すること。なお、長期履修学生については、個別に対応する。

審査申請方法：指導教員が対象となる大学院生の研究テーマや進捗状況などを記載した中間審査申請書を医学事務チーム教務担当に提出する。

提出期間： 4月入学生：2年次の4月～3月

10月入学生：2年次の10月～9月

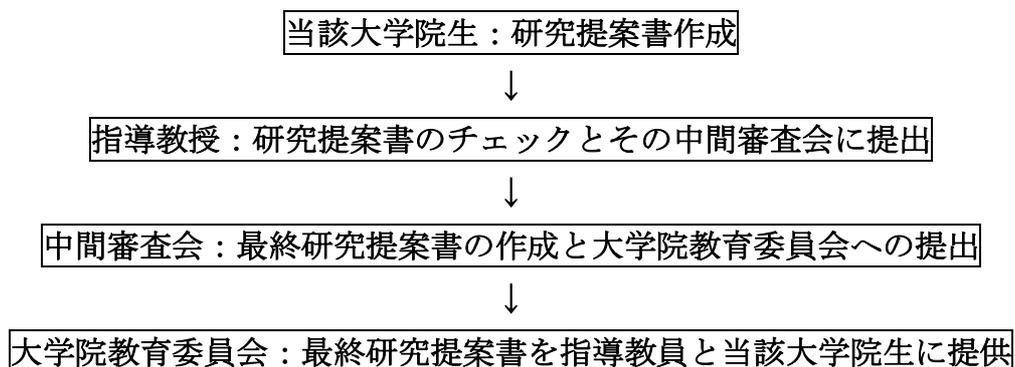
中間審査会の内容：日程は、審査員と当該分野の指導教員の協議で決定するが、大学院教育委員会が中間審査会を設置した日から、原則1か月以内に行うこととする。審査会は、原則、非公開で行う。審査会には、当該大学院生、指導教員、および審査員が参加する。

中間審査会では、当該大学院生が、研究の目的、方法、得られた結果、問題点、今後の方針などについて20～30分程度発表する。その後、審査員と大学院生が質疑応答や議論を行う。

社会人大大学院生や他研究機関に派遣されている大学院生など本学における審査会を開催することが困難な場合は、Skypeなどを利用して実施する。

審査結果：当該大学院生は、中間審査会の審査委員の意見とその意見に対応した具体的な研究の方向性や意見を示した研究提案書を作成する。指導教授は、その提案書をチェックし、中間審査委員会に提出する。同委員会は、提出された研究提案書の内容についてチェックし、最終研究提案書を大学院教育委員会に提出する。大学院教育委員会は、最終研究提案書を指導教員と大学院生に提供する。

中間審査会終了後のフローチャート



その後の研究のフォローアップ：中間審査委員は、当該大学院生もしくはその指導教員から、研究の進捗などに関するディスカッションの申し出があった場合は、積極的に応じることとする。

エイズ制圧のためのトランスレーショナル研究者育成コースおよびエイズ先端研究者育成コース生：両コースでの中間審査をもって、本中間審査とみなす。

中間審査延長願

大学院教育委員長 殿

年 月 日

分野名： _____

学籍番号： _____

名前： _____ (自署)

指導教授： _____ 印

下記の理由にて、中間審査を延長することを希望します。

理由：

中間審査実施希望時期：〇〇年 〇月頃

大学院医学教育部博士課程 中間審査申請書

大学院教育委員長 殿

年 月 日

分野名： _____

学籍番号： _____

名前： _____ (自署)

指導教授： _____ 印

下記のとおり、中間審査を申請いたします。

研究題目	
研究期間	例) 〇〇年〇月 ~ 現在に至るなど
本研究について、 指導教授以外に指導をしている教員	
推薦審査委員 (3人まで)	

中間審査用研究抄録

研究の概要について、下記のように①～⑤の項目ごとに記載した抄録を提出して下さい。
1～2 頁にまとめてください。

① 研究の背景・目的

② 方法

③ 結果・考察

* 本審査は、研究がより発展できるように指導することが目的ですので、ネガティブデータも示して下さい。

④ 今後の研究計画

⑤ その他

* 研究を遂行するのに、困っていることなどあれば自由に記載して下さい。

例えば、ノックアウトマウスを作製したいが研究資金が不足しているとか、○
○解析を行いたい但誰に相談したらいいか分からない（共同研究者を教えて欲しい）とか、○○実験が全く成功しないとか、何でも記載して下さい。

研究提案書

中間審査委員会

審査委員 各位

年 月 日

分野名： _____

学籍番号： _____

名前： _____ (自署)

指導教授： _____ 印

先日の中間審査会における議論を踏まえまして、研究提案書を提出いたします。

審査日	
審査委員	
審査概要	

審査委員からの意見・提案など	審査委員の意見・提案に対する対応策